



Hakodate North R.C.

The Weekly Report of
函館北ロータリークラブ会報

2002～03年度
国際ロータリー・デー

Sow the Seeds of Love



2002～03年度
国際ロータリー会長
ピチャイ・ラタール

慈愛の種を播きましょう

小笠原 孝会長ターマ 『仲間を増やしロータリーを広めよう！』



4月23日卓話 川越 英雄 氏

《第1917回例会》 第40号 5月7日(水)

本日のプログラム

「クラフ協議会」

★会長 小笠原 孝 ★幹事 増田定雄

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 事務局：函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870

(180)

◆函館市を取り巻く状況

人口の減少と少子・高齢化の進行
昭和59年1月末の32万3千人をピークに平成14年12月現在は28万6千人に減少し
差は18年間で3万7千人減少している。減少原因として、急激な少子化の進行、進学や
就職による市外への転出、近隣3町への流出などがあげられる。

◆函館市の財政

長引く景気低迷の影響により税収の大幅な減少や公債残高、いわゆる借金の増大など
から、国、地方ともに財政状況が著しく悪化しております。都道府県、市町村を問わず
各自治体とも極めて厳しい状況におかれています。

◆函館市と市町村合併

過去昭和に入ってから4回の合併をしております。
昭和14年湯川町、昭和24年亀田村字港地区の一部、昭和41年には銭亀沢村、昭和48
年亀田市との合併。

最近の動きとして、北海道がモデル的に作成した合併パターンをもとに、渡島管内の
市町村がローキンググループを設置し、行政サービスの現状比較などを行い昨年12月に
合併パターンごとの検討結果報告書がとりまとめられました。

Aパターン 函館市、戸井町、恵山町、樫法華村、南茅部町

Bパターン 函館市、上磯町、大野町、七飯町、戸井町

◆5市町村のデータ

平成12年国税調査の人口

函館市 287,697人 戸井町 3,893人 恵山町 4,624人

樫法華村 1,586人 南茅部町 7,571人

5市町村合計で305,311人になっている。

(会報担当者：成田 豊 委員長)

◎4月9日出席報告

会 員	出席率対象会員		47名
	49名	出席規定免除会員	
当 日 出 席	32名	当 日 欠 席	1名
他クラブ出席	6名	出 席 合 計	15名
出 席 率	80.85%		38名

・レジオンサービス(例会移動案内)電話26-3170番

次回・5月14日
プログラム

「函館ゆかりの作家達」

函館市文学館説明委員 吉田千代子 氏

- ③ 地区とガバナー補佐との情報ネットワーク
- ④ 地区と地区委員会委員長との情報ネットワーク

— 当クラブの対応 — I.C. 委員会(委員長：松見修二 副委員長：渡部二康)を設置し、7月1日ホームページの開設を計画する。

事務局にメール・アドレスを持ったコンピューターの設置を市内6クラブで検討する。

2. 地区の事業として、3220地区(ヌリランカ北部地力affna)に中古自動車を購入。(20年余の内戦の結果、国土は荒廃し人民は飢餓にうえてはいる。子どもたちは5〜10キロの道のりを徒歩で通学している。)
3. 地区会員名簿をCD-ROMで発行する。
4. I.M.は、今年度は休会とする。(グループ研究会などに変更して欲しい)
5. 1996・97年度4200名余の会員数が2003.1現在3457名と減少。一般地区資金が不足したときは、事業資金の特別地区資金から一般地区資金への繰り入れの承認。(1000名の会員減少と1700万円の収入減少のため。)
6. R I会長は2005年度までに150万人の会員増強と会員一人当たり100ドルの年次寄付を目標にして欲しい旨の要請がある。
7. 100周年双子クラブの創設と登録について、友情促進・異文化環境の理解のため外国の地域社会に恩恵を与えるプロジェクトを推進し、双子クラブを創設すること。姉妹クラブの創設とR Iへの登録。(台北東北クラブもR Iへ登録)
8. ガバナー補佐のニコニコBOXは初回訪問時のみとする。以後の訪問はデジタルナイーのみとする。
9. G.S.E.の経費見直し。(収入予算の減少により、グループに配分する経費を削減し、受け入れ会員はボランティアで受け入れよう。)
10. ガバナー月信は、3部無料。10部以上有料でお願いしたい。(インターネットでも月信を見ることが出来る。)

◎地区組織の改変

*社会奉仕委員会の下に小委員会として**子ども奉仕委員会**を設置する。

*R I提唱の家族委員会は家庭奉仕委員会に含める。

*新世代委員会に地区青少年交換委員会を引き続き設置する。(小林年度に700万円を費消しているため、会員減少が続く限り事業の見直しをする。派遣するクラブのグループで費用を考えてはどうか。)

***ポリ才撲滅のための財団寄付**について

大阪国際大会の協力が2002-03年度で終了するので、年会費の中で\$50を集めて欲しい。三年で150ドル(ポリ才は今なお、アジア・アフリカ地区で残っており、最後の撲滅のため、是非協力をしてほしい。)

地区の補助金を使って地域社会に貢献する事業を計画してください。今年度は37000ドルの予算です。申請は7月1日から9月末まで。

新年度は、

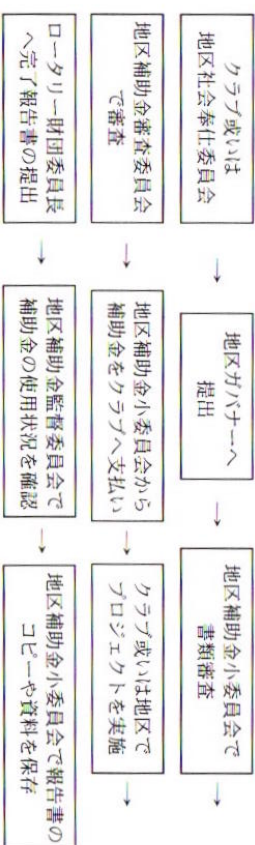
1. 地区補助金(DDFより支給。地区や各クラブで携わりたいとおもう奉仕活動または人道的プロジェクトに自由に使える資金です。申請書あり。)
2. 個人向け補助金(4月1日より申請を受け継ぎます。国際財団活動資金より支給)
3. マッチング・グラント(6ヶ月ごとの報告が必要。2000ドルまでは、小口M.G 2001-150,000ドルまで R Iに申請)

以上報告します。

尚、5月17日(土)6時30分より2003-04年度理事・役員及び正副委員長会議を国際ホテルにおいて開催します。R I、地区会長方針をふまえ、次年度事業について会長と委員会の打ち合わせをいたします。

補助金の申し込みからプロジェクト完了までの流れ

(地区補助金) 2003~04年度枠\$37,000



○地区補助金審査委員会

- ・地区ガバナー
- ・地区ロータリー財団委員長
- ・地区補助金小委員長

●地区補助金監督委員会

- ・個人向け補助金 (出発予定日の4ヶ月前迄に申請、2ヶ月前には承認)

